

熱中症対策として小・中学校に冷水機の設置を

質問者 小川龍美

年々、夏季の気温の上昇が続く中、子供たちの熱中症が増えている。熱中症を防ぐにはこまめな水分補給が大切である。また、熱中症予防には、高温の環境下における深部体温の上昇を抑制することが重要であり、水分補給には5～15℃が適温として推奨されている。今、熱中症対策のひとつとして小・中学校に冷水機を設置する学校が増えている。我が町も設置を進めるべきと考えるが、教育長の所見を伺う。